

英国議会議事録（駐留軍への国内法適用関係）

1 2013年5月21日 英国議会庶民院（下院） 在英米軍に関する質疑

ファビアン・ハミルトン氏

防衛大臣にお伺い致します。米国の法律は、英国における米軍基地に対して適用されるのでしょうか。

ロバサン（防衛大臣）

在英米軍は、1951年NATO地位協定に定められ、1952年駐留軍法を介して制定された通り、米国及び英国の法律の両方に従います。

ファビアン・ハミルトン氏

防衛大臣にお伺い致します。次のうち安全対策を総合的に担当するのはどなたでしょうか。(a) メンウイス・ヒル基地（米国）国家安全保障局（NSA）、(b) ミルデンホール基地米軍兵器庫（USAD）、(c) レイクンヒース基地米軍兵器庫（USAD）、(d) モールスワース合同分析センター（JAC）、(e) クロートン基地米軍兵器庫（USAD）、(f) バーフォード・セント・ジョン基地米軍兵器庫（USAD）、(g) フェアフォード基地米国空軍（USAF）及び (h) アルコンベリー基地米国空軍（USAF）。

ロバサン（防衛大臣）

在英米軍が利用できる基地における警察活動と安全対策は、国防省警察保安部と在英米軍との間の了解覚書の規定に基づいております。

英国は受入国として基地の境界外における安全対策に責任を負い、在英米軍が内部の安全に責任を負っております。

ファビアン・ハミルトン氏

防衛大臣にお伺い致します。どのような理由で、米空軍バーフォード・セント・ジョンにおいて軍用地附則の導入が提案されたのでしょうか。

ロバサン（防衛大臣）

バーフォード・セント・ジョン英国空軍における導入のための新附則案は、防衛省用地に配置されている米空軍要員の安全及び警備を確保しつつ、用地における活動の効果的な警察活動及び規制を促進するためのものであります。

ファビアン・ハミルトン氏

防衛大臣にお伺いします。国家安全保障局（NSA）メンウイス・ヒルにおける米国基地での宇宙配備赤外線システム（SBIRS）は積極的に稼働しているのでしょうか。ま

た、宇宙配備赤外線システム（SBIRS）は今までに使われたことがありますか。

ロバサン（防衛大臣）

英空軍メンウィス・ヒルにおける宇宙配備赤外線システム（SBIRS）は、2011年中に稼動状態に達しました。安全対策及び作戦上の理由から、施設基地での宇宙配備赤外線システム（SBIRS）の特定の使用についてはコメント致しません。

2 2015年6月17日 英国議会庶民院（下院） 在英米軍に関する質疑

質問者：ファビアン・ハミルトン（リーズ北東部）

質問日：2015年6月17日

防衛大臣にお伺い致します。私的通信の不法監視が英国内の米軍基地で行われていないことを保証するため処置を講じることが予定でしょうか。

回答者：ペニー・モーダント（防衛大臣）

回答日：2015年6月23日

在英米軍の利用に供されている英空軍基地における活動は、現在そして将来も、英国及び米国の両国の法律に従って行われます。